

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	図学・基礎デザイン	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位		開講時間	月　1～4 時限		授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	加藤　裕一、三矢　雅人			実務経験の有無・職種	有・建築設計　一級建築士		
学習目的							
設計か施工に関わらず「実務」で必要な要素となる「図面」や「模型」の基本技術／基本知識を理解する。 社会に出ると「自分の考え／アイデア」を表現し相手に伝えることが重要となるが、その表現手法の基礎となる技術を学んでいく。 また、繰り返し訓練することで「作業スピード」をアップさせ、『実践力』を身につける。							
到達目標							
基本技術を練習する ⇒ 習得することで、これからの「実践の場（＝実務や課題）」で活かせる技術を身につける。 基本技術を繰り返し練習する ⇒ 作業スピードが上がる ⇒ 作業時間を短縮できる ⇒ 実践で活躍しやすくする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、基本的な技術をステップアップしながら、繰り返し練習することで身につけることが目標になる。 なお学生には得意分野・不得意分野があるので、習得スピードに差が出ることもある。 得意な学生にはステップアップをした課題に取り組み、より多くの技術を習得することを意識してもらい、あまり得意ではない学生には、ひとつひとつの課題にじっくりと取り組んでもらい、理解を深めることを意識し、取り組んでもらいたい。						
	この授業では、課題を通して訓練することが重要である。そのため、授業に出席した上で課題に真面目に取り組むことが大切になる。 （理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。） また将来を見据え課題に取り組んでもらうためには課題をただこなすのではなく自分で考えることが重要になる。						
評価方法	種別	割合	備　考				
	試験・課題	50%	課題を総合的に評価、平常点の内容とした「提出状況」も評価する				
	平常点	50%	授業参加度、授業態度による評価、課題提出状況（遅延提出）も評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	イントロ／模型製作の練習1			立方体の製作：建築表現で重要となる建築模型を作るための「基本」を学ぶための練習			
2回	模型製作の練習2			簡単な立体の製作：建築表現で重要となる建築模型を作るための「基本」を学ぶための練習			
3回	図面の基礎知識を学ぶ			簡単な立体を通して、「平面図」・「立面図」・「断面図」はどういうものかを理解する			
4回	空間をデザインする1			光の空間（スタディ）：立方体の内部空間をデザインする（試行錯誤していく楽しさ）			
5回	空間をデザインする2			光の空間（スタディ）：立方体の内部空間をデザインする（試行錯誤していく楽しさ）			
6回	空間をデザインする3			光の空間（完成）：立方体の内部空間をデザインする（完成させるプロセスを学ぶ）			
7回	立体の表現方法の練習1			アイソメ・アクソメ：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習			
8回	立体の表現方法の練習2			アイソメ・アクソメ：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習			
9回	立体の表現方法の練習3			パース(1点透視図)：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習			
10回	立体の表現方法の練習4			パース(1点透視図)：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習			
11回	作図の練習1（平面図）			平面図の写図：リアルな建築の平面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習			
12回	作図の練習2（断面図）			断面図の写図：リアルな建築の断面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習			
13回	作図の練習3（立面図）			立面図の写図：リアルな建築の立面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習			
14回	特別演習1			実験的な手法で学ぶ1			
15回	特別演習2			実験的な手法で学ぶ2			